

議事要旨

平成19年度 西日本高速道路株式会社事業評価監視委員会 議事要旨

1. 開催日時 平成20年1月31日(木) 14:00~17:30
2. 場所 西日本高速道路株式会社 18階 会議室
3. 出席者 [委員] 飯田委員長、斎藤委員、奥田委員、帯野委員、中瀬委員、
泉川委員、戸田委員
[弊社] 奥田社長、山本専務、高田取締役 他

4. 議 事

➤ 下記の5区間について審議

- ・ 近畿自動車道敦賀線(舞鶴西~小浜西)
- ・ 中国横断自動車道尾道松江線(三刀屋木次~松江玉造)
- ・ 四国横断自動車道、一般国道11号高松東道路(鳴門~高松西)
- ・ 四国横断自動車道(南国~須崎東)
- ・ 一般国道3号南九州西回り自動車道(鹿児島道路)

➤ 対応方針(案)は了承

➤ 主な意見

【近畿自動車道敦賀線(舞鶴西~小浜西)】

- ・ 観光産業の活性化については、観光産業全体でどれくらいの収支が改善されたのか考察を加えた方がインパクトをわかりやすくアピールできる。
- ・ 料金弾力性が大きい区間と考えられるのでマーケットの需要分析をしっかりと行い、四季別の料金設定など弾力的な料金政策を導入してはどうか。
- ・ 整備効果として、舞鶴港におけるトレーラーの輸送量の分析だけではなく、近畿圏における生鮮食料品の絶対量やフェリー側の運行頻度や料金といった条件変化についても押さえておいた方がよい。
- ・ 所要時間が半減しているが一般道からの転換効果が余り出ていないので研究してみる必要があるのではないか。(市街地からICの距離が離れているため、域内交通は一般道利用が多いと思われることを説明し、了承)

【中国横断自動車道尾道松江線(三刀屋木次~松江玉造)】

- ・ 降雪時にも通行止めがないので安心して走れる。こうした事例は、日本海側の高速道路の整備効果を考えるときの一つの評価になるのではないかと。
- ・ 宍道湖サービスエリアは宍道湖の景観を意識しているよい事例。これから整備する休憩施設についても土地の特性を考慮して頂きたい。

【四国横断自動車道、一般国道 11 号高松東道路（鳴門～高松西）】

- ・ 高速バスは非常に便利。大阪に来るのに料金が安く乗り換えも必要ない。非常に利用が増えており、地元で生活している者の実感にも即している。
- ・ 一般道からの転換が順調なのは並行する一般道が国道 1 本しかないからだろう。一般道のバイパス整備が進んだときにどうなるか少し懸念される。
- ・ 2 車線区間がかなりの距離続くので運転していてかなり不安を感じる。すぐに 4 車線化は難しいだろうが部分的な拡幅はしていただきたい。
- ・ 渋滞の緊急性については具体的数字を示してアピールすべき。

【四国横断自動車道（南国～須崎東）】

- ・ 大阪 - 高知の場合は高速バスと航空機が直接的な競合関係になっているという非常に興味深い結果が出ているので、輸送機関別の比較分析対象に加えるべき。
- ・ 環境配慮は非常によくやっている。中村市は日本のピオトープ発祥の地。今後の高速道路整備にあたって地域性を考慮した環境配慮を是非やって頂きたい。

【一般国道 3 号南九州西回り自動車道（鹿児島道路）】

- ・ 個別事項は特になし

【全般】

- ・ 会社も何らかの形で地域づくりを後押しするようなことをして頂きたい。
- ・ 観光行動に関しては女性の影響が強い。企画広報にもっと女性の視点を活用すべき。
- ・ 美味しい、いいものが置いてあるところにお客さんは集まる。SA 等も参考として道の駅を一度勉強してみてもどうか。
- ・ 効果分析は、ベーシックな事項についてはいくつか統一する必要があるが、地方の特性に合わせ、それぞれのプロジェクトの特徴が出るように説明すべき。その為には当該道路の整備による地元の期待や目標というものを掘り起こす努力をしたうえで評価すべき。
- ・ メディアを活用して高速道路の意義や整備効果を伝える努力をして欲しい。
- ・ 21 世紀の観光は、いわゆるハコ物だけではなく、街自体が持っている魅力的な都市空間や歴史空間を磨き込み、打ち出すことが重要であり、観光資源の洗い出しの方法論をもう少し練るべき。
- ・ 植栽等、作り上げた環境を 10 年先 20 年先に向けて地域住民の方とどうマネジメントしていくのかそろそろ議論を始める時期に来ていると考えられるので検討して頂きたい。

以 上